全建会員管理システムについて

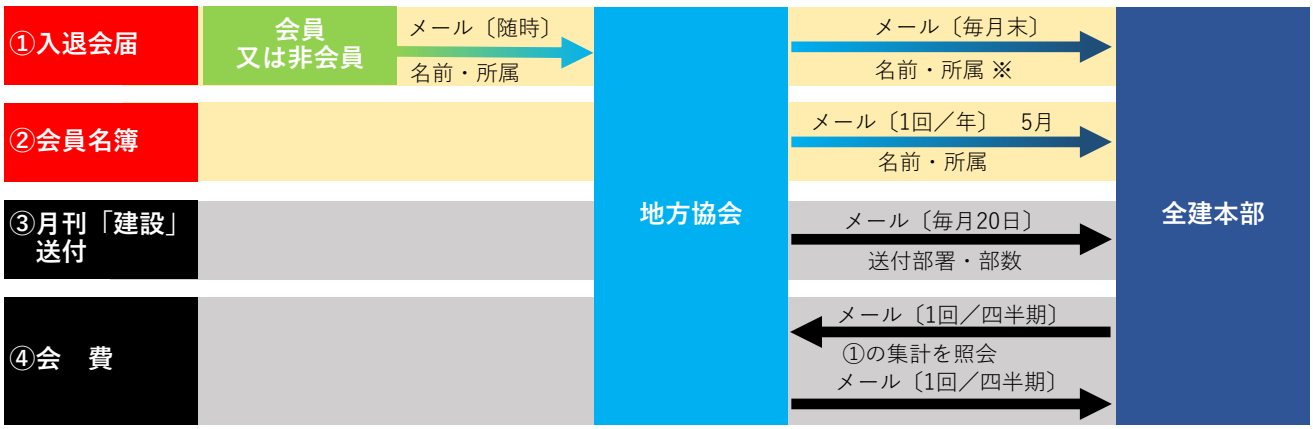
本協会では、会員管理業務（入退会及び名簿の整理等）について、クラウドDBの活用によるシステム化（以下、「全建会員管理システム」という）をはかり、会員個人及び地方協会事務局の皆様の業務の効率化を検討しています。

検討スケジュールは、令和８年度中に試行運用を実施し、令和９年度中の本格稼働を予定しており、試行運用にご協力いただける協会の募集を開始します。なお、試行運用にご協力いただける協会には、全建会員管理システムへ入力する会員データの提供・確認等をお願いすることとなります。なお、試行運用に参加される協会においては、現在、メール等で行っている会員管理に関する連絡については、全建会員管理システムで行うこととなります。

「現在の会員管理状況及び課題」及び「全建会員管理システム（試行運用）」については、以下をご参照ください。

注）試行運用開始時期は10月頃を予定していますが、システム構築の進捗状況等により前後する場合があります。
ご協力いただく協会は10協会程度を目安としており、応募多数の場合は調整をお願いすることがあります。

「現在の会員管理状況及び課題」



※）人数だけの場合あり。

課　題

1．会員情報（人数、所属、氏名、連絡先など）の迅速かつ正確な把握が難しく、地方協会と本部間で頻繁に確認作業を行っており、事務量増大の原因
2．毎月の会員数確認では、退会者を特定できず人数確認だけの場合もあり、事務手続きに手戻りが生じるリスク大
3．会員情報の把握が難しい原因は、次のようなことが考えられる
   1）個人→地方協会→本部とメールでの情報伝達であり、各段階での確認に時間を要している。
   2）入退会方法を知らない会員もおり、特に退会の意思確認に時間を要している。
   3）退職者が自然退会と認識している場合、事務局が退職者の連絡先（メールや電話）を知らない場合には、入退会の意思確認に時間を要している。
   4）異動者が地方協会窓口を知らない場合には、入退会の意思確認に時間を要している。

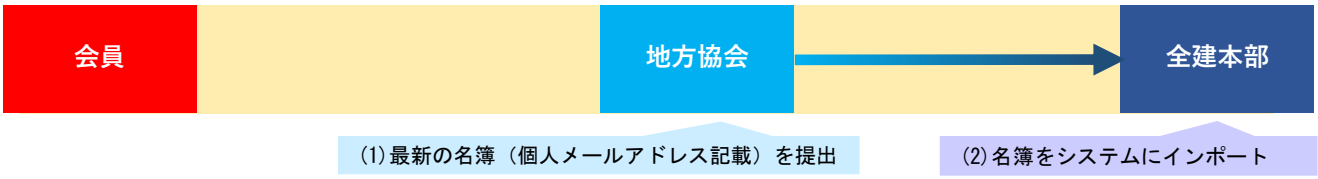
「全建会員管理システム」では、、、　→　①②をシステム化し、業務の効率化

（「試行運用」は裏面をご参照ください）

「全建会員管理システム（試行運用）」

（STEP1） 名簿の提出・インポート

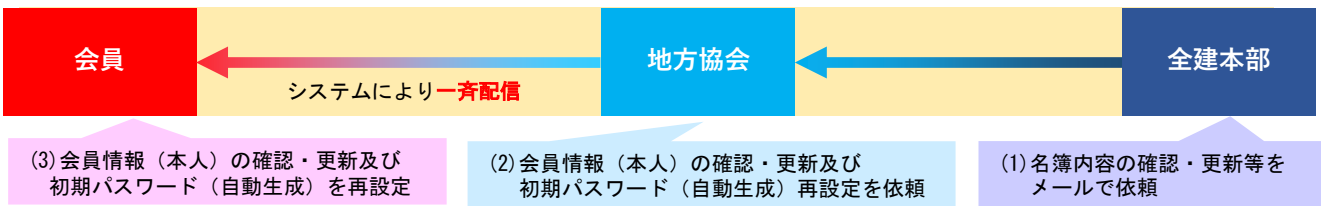
（１）地方協会事務局：全所属会員のお名前と個人メールアドレス（Webメール［gmail、yahoomail　など］、キャリアメール携帯、職場メール）などを記載した最新の会員名簿を全建本部にメールで送付
（２）全　建　本　部：送付いただいた会員名簿を全建会員管理システムにインポート



（STEP2） 会員情報の確認・更新、パスワード再設定

所属会員への連絡をメールで一斉配信し省力化。

（１）全　建　本　部：地方協会へインポートした名簿内容の確認・更新等をメールで依頼
（２）地方協会事務局：全所属会員へ（１）のインポート結果の確認・更新とパスワード再設定をメールで一斉に依頼
（初期のパスワードは、地方協会事務局より全所属会員へのメール発信時に自動で付与されます）
（３）会　　員：全所属会員はマイページより（２）を実施



マイページ



（イメージ）

（STEP3）会員上納の確認・更新、パスワード再設定確認

全会員の更新状況をまとめて確認可能。

（１）地方協会事務局：全所属会員の会員情報の更新及びパスワードの再設定完了を管理画面（会員情報一覧）より確認し、全建本部へ報告



（１）会員情報（本人）の更新及びパスワード再設定の完了確認



（イメージ）

（STEP4）試行運用開始

入退会状況・会員情報の更新を一元管理。整理・集計不要。

（１）地方協会事務局：入退会等を確認し上申、会員情報を確認



会員情報の更新・退会

入会申込

（１）入退会等を上申、会員情報を確認

データのエクスポート機能を活用し名簿作成も可能！